小さい者の一人が滅びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つのぶえ

TSUNOBUE

2018年 12月20日　第419号

社会福祉法人
小羊学園
住所 〒433-8105
静岡県浜松市北区三方原町2709-12
電話 053-584-3337　FAX 053-585-8488
E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/
発行人 稲松義人
印刷所 アド・アール株式会社

団らん　～いつも居心地の良い場所であることを願って～

今年もクリスマスを迎える季節になった。日本では、ちょうど新年を前に一年を振り返る時期と重なるため、過ぎゆく年が守られたことへの感謝の念が強くなりがちだが、本来、クリスマスは、明日への希望を待ち望みつつ、たとえ困難な中にあっても、今、生かされていることを感謝するときではないかと思っている。たとえ一年をふり返って、残念な出来事が多く、ひょっとすると大きな挫折を感じることがあったとしても、あるいは今まさに途方にくれるような深刻な課題を突き付けられていたとしても、明日へつながる希望を信じることができることを感謝したいと思う。

グループホームで生活する人たちは施設での生活よりは「我が家」を感じるかも知れないが、そこは一般的な家族ではない。本当ならば、自分が育った家庭や、愛する人と築く自分の家族と生活することを望んでいるのかも知れない。しかし、そこで一緒に生活する者どうしが互いにゆるし合い、支え合って暮すことができるとすれば、それは一人ひとりにとって安心できるところになるのではないだろうか。グループホームは建物ではなく、そんな場所であってほしい。旅先の貧しい馬小屋で生まれたみどりごイエスがヨセフとマリアのまなざしのもとで、すやすやと眠る「聖家族」のように。

メリークリスマス。

稲松義人

マルカート総合優勝！ 第10回小羊ふれあい運動会

実行委員長：雪山 拓登（わかぎ）

10月12日に小羊学園ふれあい運動会が浜北グリーンアリーナで行われました。今回は記念すべき10回大会として開会式典でくす玉割りをしました。10年経過すると皆さん年齢を重ねてこられたため、徒競走の競技内容を変更し、みんなが楽しめる工夫をしました。大玉転がしや玉入れなどの定番種目でも皆さん大いに奮闘していましたよ。結果、施設対抗種目の総合優勝はマルカートが栄冠に輝きました。また、第1回から連続10年、お昼休みのアトラクションとして歌とダンスをお披露目してくださる魅惑的倶楽部（エキゾチッククラブ）の皆様にも感謝の気持ちを表す記念品を贈呈しました。

10回大会を記念したくす玉割り

浜松市GH連絡協議会って？

会長　渥美 雅世

浜松市グループホーム連絡協議会は、平成19年に、浜松市内でグループホーム・ケアホームを運営している法人が参画し設立された任意団体です。現在15法人、約50ホームが加盟しています。連絡会では、年に6回定例会があり、各グループホームの課題を共有し職員の支援スキルアップ研修会開催や、運営面での勉強会などを開催しています。最近では、入居者の意思決定支援を考える勉強会や、高齢化／就労・金銭管理など入居者の抱える課題を意見交換したり、新規に建設されたグループホームを見学しています。

地域生活を維持するために重要な社会資源としてグループホームの役割を再確認し、それぞれのホームが居心地の良い場所となれるよう関係職員で高めあっていきたいと思っています。

自動ドア改修工事の助成報告

つばさ静岡内　児童発達支援／放課後等デイ

たんぽぽ

この度、つばさ静岡内にある重症心身障害児を対象とした児童発達支援／放課後等デイ「たんぽぽ」の入り口ドアを自動ドアに改修しました。自動ドア設置によって、車いすの移動がスムーズになり大変便利になりました。募金をされた多くの県民の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

総工費：￥1,976,400
受配額：￥1,518,000
完成日：平成30年7月14日

社会福祉法人小羊学園 新卒採用　二次募集中

＊小羊学園では、２０１９年４月採用の新規卒業予定者の二次募集をしています。障がい者福祉に興味のある方、人と関わることが好きな方、私たちと一緒に働きませんか？
詳しくは、小羊学園ホームページの募集要項をご確認ください。

あとがき

師走になるとソワソワするのは何故だろうか。どうやら新しい年を迎える喜びだけではなさそうだ。自らを分析すると日々のルーティンな作業に加え、クリスマスを迎える楽しみと準備、年賀状を用意すること、年末のお掃除などやらなければいけないのに、やり切れずに後回しにしてしまうことからくる不安感のようだ。追われる前にやっておけば…と思うのだが。皆さんも状況は違えどこんな経験があろうかと。

今年は、猛暑・台風など静岡県も自然の猛威を肌で感じた年でしたね。防災意識を高め、日頃の準備を整えていきましょう。皆様、良いお年をお迎えください。

（F）

小羊学園を支える会

2018年度 寄付金報告

9月～10月分　712,255円（ 43件）
累　計　2,327,344円（ 99件）
多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座　００８００－８－１０７７８５
口座名義　社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行　０８９店　当座預金０１０７７８５
口座名義　社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。
小羊学園を支える会事務局（鈴木）
小羊学園法人本部　☎０５３－５８４－３３３７

対談
地域で暮らすためのつながり
～グループホームでの実践を通して～

【参加者】
・温心寮　管理者　白尾　早織
・ひまわり　支援課長　渥美　雅世
・温心寮　主任　黒田　大空
・ひまわり　主任　鈴木美智子
＊インタビュアー（法人広報委員）
・アグネス　相談員　新村　直由

【新村】本日は多忙の中、座談会に出席いただきありがとうございます。障がい者福祉の情勢は、入所施設からの地域移行が謳われ、すでに四半世紀が経とうとしています。小羊学園でも入所施設からグループホームへと住まいの場を地域に移してきましたが、その経緯をお聞かせください。

【白尾】地域生活への足掛かりとなったのは、今から16年前、三方原エリアでH14年に入所施設に籍を置きながらも、小集団での暮らしを体験する自活訓練事業を始めたことです。当初は、ある程度身辺自立した障害程度の軽い方達を中心に、職員宿舎を利用しながら、活動と生活の場を明確に分けて暮らす「温心寮」を開設しました。

小集団での暮らしが、ご本人の安定や生活の質の向上に繋がることを踏まえ、その後比較的支援度の高い方達も自活訓練事業を経てグループホームでの生活へと移行していきました。

温心寮　白尾さん

【渥美】浜北エリアではH16「ひまわり」の開設から、さらに地域移行を目指し、自活訓練を経てH21浜北区寺島の借家にてカトレアを開設しました。現在の場所に建設予定があったため、2年間という期間限定の仮住まいでしたが、自治会の活動や地域の催し物に参加したり、近隣の方がいろいろと気に掛けて下さったりと、地域との繋がりを強く感じた2年でした。一方、その2年間で、職員が実際に住宅メーカーへ見学に行き、生活のイメージを膨らませ、初めての試みとして住宅メーカーによるプレゼンにより決定し、建設への運びとなり、H23.4より新生カトレアがスタートしました。

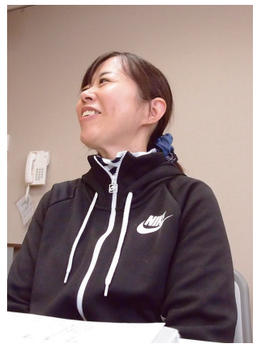
ひまわり　渥美さん

【新村】そんな経緯があって、現在の支援につながっているんですね。では、実際のグループホームで、地域とのつながりについてお聞かせ願います。まずは三方原エリアお願いします。

【黒田】温心寮では、自治会の回覧板を次のお宅に皆で届けに行ったり、地区の夏祭りに毎年参加したりしています。日々の生活の中では、バス通勤している方や週末に移動支援を利用してヘルパーと外出している方もいます。バス通勤されている方は、困った時にご本人の携帯から電話してくれます。雨の日も傘をさしてバス停まで歩き通勤する姿は、仕事への意欲を感じています。ヘルパーとの外出では、バスや電車を使って映画館や買物など自分の行きたい所へ1日出掛けています。皆さん次の外出が楽しみで「次はいつ？」と話し掛けてくれるんですよ。

【新村】苦労しながらもバス通してるんですね。では、浜北エリアはどうでしょう。

【鈴木】ひまわりのご近所付き合いは、GH旅行のお土産を渡したり散歩中に挨拶を交わしています。以前には、近隣の方から利用者さんの相談を受けたことがありましたが現在では、利用者理解を示して下さり大変有難く感じています。また、旧カトレア時は、自治会活動の草刈りや、お宮で行う流しそうめん等に参加しました。交流の輪を広げることで生活の質が豊かになったと実感しました。高齢化が進む中ひまわりでは、2名の方が、介護保険を利用してリハビリデイへ週1で通っています。スタッフの方や利用されている方との交流を毎週楽しみにされ笑顔が増えました。


ひまわり　鈴木さん

【新村】三方原エリアも浜北エリアもこうした地域とのつながりを意識しているんですね。では、入居されている方がもっと地域とのつながりを持てるための課題ってどんなところにあるんでしょうか。

【白尾】介護保険を利用者されている方は、ケアマネージャーを中心に様々な関係機関が集い、ご本人の気持ちを汲み取りながら、現在の困り事を解消しつつ、いかに楽しく生活できるか？という共通の目的に向かって支援の輪を作っていることを実感します。介護保険を利用されていない方たちも、事業所内の支援で生活を完結させるのではなく、積極的に今利用できるサービスを使って様々な方と関わっていくことが、地域とのつながりを広げていく重要な一歩であると思います。

【渥美】浜松市グループホーム連絡協議会では、浜松市内のグループホームに携わっている法人が集まり、課題や情報共有を行っています。自分たちには無い発想や取り組みなどを情報共有しています。他法人だからこその学びや気づきも多くあります。また、グループホームで働く職員の困り感や共通の課題も多く、意見交換や職員のスキル向上のための勉強会も行っています。法人は違えども、同じような境遇の中で共に支援に携わっている仲間として、地域での生活の充実を目指しています。

【新村】ありがとうございます。その一方で実際の支援現場で感じる課題はまた別の視点があろうかと思いますが、どうでしょうか。

温心寮　黒田さん

【黒田】移動支援や機能低下に伴う食形態の対応で宅配サービスを利用するようになりました。他事業所を利用する事で、利用者さんの様々な表出に対して他事業所との窓口となり、柔軟な対応が求められるようになりました。

今後は他事業所との連携の強化は勿論、不安や失敗も含めて利用者さんと共に経験し、利用者さんの楽しみを一緒に広げて行けたらと思っています。

インタビュアー　新村さん

【鈴木】高齢化による機能低下が見られ始め、食事形態、夜間の排泄等様々な面で日ごと支援内容が変わってきています。一人ひとりの利用者さんのライフステージに寄り添った生活を考えて支援をしていく事と、常に利用者さんの思いを聞いて生活の充実に繋げれるよう今後もネットワークを広げチームで取り組んでいきたいと思います。

【新村】そうですよね。地域で生活するって入居者とともに解決する気持ちが大事ですよね。最後に、言い残したことがありましたら…

【白尾】グループホームでの暮らしが安定している皆さんとの関りの中でも、日々新しい気づきがあります。その小さな気づきが、入居者の笑顔につながるよう支援の輪を築いていきたいと思います。

【渥美】さまざまな人との関わりが、生活の幅を広げ、経験値となり、それが生活の豊かさにつながるのだと思います。我々がアンテナを高くし、情報収集し発信していくことが大事になってきます。入居者の方々が、地域の中で共に生きていく喜びを感じることができるよう、今後も考えていきたいと思っています。

【新村】アグネスの相談員としても、地域がつながることの大切さを改めて感じることができました。皆さんのそれぞれの場でのご活躍を祈念して閉会とします。本日は、皆さん本当にありがとうございました。

ちょっと知ってるとお得な福祉豆知識
～ グループホーム編 ～

☆大きく分けて４つの類型があるんだよ
＊外部サービス利用型（現・旧グループホーム）
比較的自立度の高い方が住んでいる
＊介護サービス包括型（旧ケアホーム）
日常介護を必要とする重い方中心
＊日中サービス支援型（活動と夜間支援のセット）
＊共生型（認知症対応型グループホーム）
ホーム内の一部で障害者を受け入れ